

外交とは、内に閉じ籠っておれば何とかなるの？

中国の外務大臣、世界を駆けまわっている。敵ながらあっぱれだよ！

昨日は3月の27日、「弥生も末の七日、あけぼのの空、ろうろうとして、月は有明にて光をさまれるものから、富士の峰微かに見えて、上野、谷中の花の梢またいつかと心細し・・・・・・・・・・」

陰暦の三月下旬は今日とは違うだろうが、それにしても、松尾芭蕉の「旅たち」の真摯な覚悟を、茂木さんと比べてみたくなる。

茂木さんがイランや、ミャンマーに、「臆病で行けない」事は国民皆が知っている。トップと会いさえすれば、関係改善に役立つ事も解っている。

実行力の無い、こんな愚かな人物を大臣にしている責任は、我々国民にある。

先日冷たい豪雨の中、自転車で宅配に廻る若者たちの姿があった。一時間2千円ほどになるそう。思わず「頑張れ！」と、声援を送りたくなった。政治が墮落しても、経済が低迷しても、この若者たちが居る限り、わが日本は大丈夫だ。

電通の締め付けがあるのだろう。オリンピック中止を言えるマスコミ人は皆無だ。COVID-19第4波が「これ以上蔓延したら、オリンピック、パラリンピックは中止する！」と、菅総理自身が国民に向けて、予告すべきではないか？

新型コロナ禍で対策に成功した国は、世界に無いのだ。我が国も全身全霊で取り組んだ結果が現状だ。

「GoTo」など、あれは失敗だった。」と、言い切れぬ首相に、国民は反感を持つのだ。また、「成果を挙げた」と確たる証拠も無く断言する。

数日後には逆の結果が出る。政治不信が募るのも当然だ。

28, MAR, 2021 小田兼利